

たくさんの思い出をありがとう！ ～佐須中学校～

対馬市では今年度、佐須中学校と南小学校が閉校し、学校の歴史に幕を閉じます。それぞれの学校が歩んできた道や最後の児童・生徒として学校での生活を送る子どもたちの声、学校を支えてきた地域の人たちの姿を、今月号と来月号でそれぞれ紹介します。

佐須中学校の歩み

昭和62年	4月	金田中学校・阿連中学校が統合して「厳原町立佐須中学校」誕生
平成	元年 4月	第1回立志式および校歌発表会
平成	7年 8月	佐賀県基山町との交流会
平成	14年 4月	大調中学校と統合
平成	16年 3月	6町合併により「対馬市立佐須中学校」となる
平成	26年 11月	佐須まつりおよび佐須坂トンネル貫通式で生徒による「つしま蒙古太鼓」披露
平成	28年 11月	第30回文化祭（創立30周年記念行事）
令和	3年 10月	閉校メモリアルコンサート
令和	4年 3月	閉校へ

昭和62年度



佐須中第1回運動会（応援合戦）

平成元年度



みんな仲良くじゃんけん列車

平成20年度



小茂田浜神社祭りのメインイベント「奉納相撲」

令和3年度



佐須中最後の修学旅行

平成23年度



気持ちをひとつに「対馬市学校音楽会」



3つの学校が統合して誕生した佐須中学校



金田中学校



大調中学校



阿連中学校

今から35年前の昭和62年4月に、隣接する金田中学校と阿連中学校が統合して生まれた佐須中学校。平成14年には、大調中学校とも統合し、対馬南西部の広い範囲を校区に持つ中学校として35年の歴史を歩んできました。これまでの卒業生は700人以上。校訓の「愛」「厳」「寛」を胸に、勉学や部活動に励んできました。部活動では、市や県の大会での優勝など、輝かしい成績を残してきたほか、長崎県中学校総合文化祭での「つしま蒙古太鼓」の発表など、学校を飛び出での活動も積極的に行ってきました。

佐須中学校校訓

「愛」優しい心・・・優しく思いやりのある愛情豊かな心

「厳」厳しい心・・・厳しい社会を生き抜く強い心

「寛」広い心・・・多様な価値観を持つ人々や社会で協働できる寛容な心

新旧生徒会役員に聞きました 佐須中って〇〇！



舎利倉：生徒みんなの仲が良いです！

日々の活動や行事の際も、学年関係なくみんなで取り組むことができます。最後の文化祭では元寇をテーマにした劇に全校生徒で取り組み、披露しました。

斉藤：みんながやる気にみちています！

1年の時、中体連の駅伝メンバーに選ばれず悔しい思いをしたとき、みんなのおかげで、頑張る力に変えることができ、学校最後の選手として、今年度出場することができました！

手束：みんな明るく、独りぼっちがいません！

みんなの仲が良いので、学校全体の雰囲気がとてもいいです。全校で取り組んだレクリエーションでは、自分たちで企画を考え、地域の方に協力してもらいながら取り組み、成功することができました。

平川：みんなで協力しあえる学校です！

行事の準備では、役割分担しながらスムーズに準備を行うことができます。最後の運動会では、ダンスや行進など、生徒みんなで考えて取り組みました！

校内の思い出の場所を紹介



生徒会長
平川 咲弥さん



全校合唱を練習した音楽室



みんなで写真を撮った中庭



副会長
斉藤 宥成さん



前生徒会長
舎利倉 直翔さん



部活で汗を流したグラウンドと体育館



前副会長
手束 舞袖さん

35年のあゆみは、地域と共に

佐須中学校は、創立以来地域との関わりを大切にしてきました。地域での学習にも力を入れ、矢立山古墳の清掃活動や地域の事業所での職場体験など、佐須中にとって地域は大切な教育の場所でした。



地区の大切な文化財を美しく



文化祭や小茂田浜神社祭りで展示する菊づくり



郷土料理「くぐり」作り。対馬の伝統を舌で感じる



地域を深く再発見することができた職場体験

総合的学習での若田石硯の制作や、菊づくりなど、地域の人たちが先生となって生徒に指導する機会も多く、生徒たちは地域の人たちから多くのことを学びました。

佐須地区の地域おこし団体「佐須響心会」から指導を受けて取り組んだ「つしま蒙古太鼓」は、学校行事だけでなく、地域のイベントなどでも披露し、地域の一員として、佐須地区に元気を届けました。



佐須坂トンネル貫通式での蒙古太鼓披露



伝統の若田石硯制作の指導を受ける

関係者 message

卒業生として、保護者として、地域の一員として中学校と接してきました

第3期卒業生 舍利倉 広幸さん

佐須中学校最初の入学生として、大きな制服に身を包んで入学してから35年、卒業しても、今度は保護者として学校に関わることになり、さらには佐須響心会のメンバーとして、太鼓の指導も、少しですが関わりました。保護者として、子どもたちが地域の皆さんに育てていただいたという気持ちを強く感じています。しかし、地域を元気にしたいと活動していく中で、それ以上に、地域にとって、佐須中学校の子どもたちの力は大きかったと感じています。地域で活動する折々に中学生から受けるエネルギーにとっても助けられました。学校は閉校しますが、これまで中学校と地域が培ってきた歴史と伝統を受け継ぎ、これからも、地域を元気にする灯にしていきたいと思います。



中学時代の思い出は「応援合戦」

35年、地域の皆さんに支えられた中学校

佐須中学校第11代校長 八坂 健一さん

佐須中学校の校長として赴任した令和2年は、新型コロナウイルスの予防のため、学校活動や地域活動が制限され、これまでとは全く違う学校運営に戸惑う中、学校の閉校に向かって進むことになりました。

令和3年度は、すべての行事が中学校として最後の行事ということになり、コロナ感染症対策を最大限に取りながら、でき得る限り実施してきました。しかし、創立以来、地域の皆様に愛され、支えられてきたご恩をお返しができない状況にやりきれない思いでいたことも、また事実です。

佐須中学校の閉校に際し、何か地域にお返ししたいという私の個人的な思いは、PTA役員の皆様をはじめ、閉校委員会の皆さん、そして地域のご協力をいただき、他の学校ではできない1年にしようという思いの下、何とか形になって、皆さんにお届けすることができそうです。奇しくも私の教員生活は、佐須中が歩んできた時間と同じ35年、これも何かのご縁だと思い、佐須中学校の締め括りのお手伝いできればと思っています。





last message 佐須中学校へ

